

ふれあい

酒田市社協
さかたししゃきょう
と呼んでください

社会福祉法人酒田市社会福祉協議会 会報ふれあい



あの日の経験を
次の備えへ

最上川下流・赤川総合水防演習

酒田市の最上川河川敷で行われた水防演習に、酒田市社協が参加しました。令和6年7月大雨災害時に開設した災害ボランティアセンターの活動を、パネル展示で紹介しました。

今号の「PICK UP」

「一人で抱えない
災害ボランティアセンター」

被災者インタビュー

令和8年度 酒田市社協事業のご紹介・予算(収入と支出)

今号の題字

山形県立酒田光陵高等学校
情報科3年 菅原さくらさん

季節は7月。人々が触れ合う七夕や花火をテーマに、夏の賑わいを表現しました。

ただの季節行事としてだけでなく、イベントを通じて生まれる「交流」の楽しさが伝わるようなデザインを意識しました。

「もう終わりだと思った」

—被災者インタビュー—

令和6年7月の大雨災害から約2年が経過。今回は特に被害の大きかった八幡大沢地区にお住まいの後藤正一さん、相蘇弥さんに当時の状況をお聞きしました。

目の前に押し寄せる濁流を間近で見たと二人の目に、災害はどのように映ったのか、また復旧・復興に向けて災害ボランティアセンターが果たした役割についてもお話を伺いました。

—被災当時の状況について教えてください。

(後藤正一さん)

当時は自宅にいて、隣を流れる川の水位がどんどん上がってきました。避難しようとした矢先に越水し、濁流が押し寄せてきて胸のあたりまで水が来ました。「もう終わりか」と思ったが、その後、水位が下がった隙に二階へ逃げ込みました。

(相蘇弥さん)

田んぼの見回り中に越水を確認し、急いで家族へ避難を呼び掛けました。それから国道の安全確保のために誘導の対応をしましたが、その後は自宅周辺も浸水し、国道の上から自宅をただ見ていることができませんでした。



後藤正一さん宅周辺の当時の様子

—その時の心境はいかがでしたか。

(後藤正一さん)

物凄い濁流で、「なるようにしかありません」「人の力でどうにかなるようなものではない」と感じました。

(相蘇弥さん)

窓が割れ、水が流れ込んでいく様子を、ただ見守るしかありませんでした。想定を超える水量でした。水が引いた後に自宅へ戻ると、「柱が曲がらずに残っていたのを見て、家があって運が良かった。」と思いました。



相蘇弥さん宅内の当時の様子

—片付けや生活再建で大変だったことを教えてください。

(後藤正一さん)

多くの方から協力してもらいました。自分たちだけでは到底できなかったと思います。同じ地域の方から重機を借りることができて作業が進みました。家はサッシが壊れなかったのが良かったですが、床下の泥出しは非常に大変でした。

(相蘇弥さん)

家の中は大きな流木や泥が流れ込んでいてひどい状態で、「ここまでぐちゃぐちゃになるのか」と思うほどでした。地域全体が被災していたため、外からの支援に頼るしかありませんでした。

～流れ込む大量の土砂と流木～ あの日、目の前の濁流に見た景色

——被災前から「災害ボランティア」「災害ボランティアセンター」についてご存知でしたか。

(後藤正一さん)

知らなかったです。今まで災害がなかったからだと思います。災害ボランティアセンターからはビブスを着たスタッフが来てくれて声を掛けてくれ、元気づけてもらいました。

——ボランティアとの出会いのきっかけを教えてください。

(後藤正一さん)

集落支援員の阿部彩人さんのつながりで大学生などのボランティアの方が来てくださり、復旧が進みました。その後も大学生などが継続的に来てくれました。

(相蘇弥さん)

最初は自分たちで片づけをしていましたが、災害ごみの仮置き場の期限が近づき、大急ぎで対応する必要がある、災害ボランティアセンターに行って相談しました。

——ボランティアの支援に対しての感想などを聞きました。

(後藤正一さん)

床下の泥出しなど、手間のかかる作業を一生懸命に担っていただいたことです。家をきれいにするには何日もかかるため、本当に助かりました。

(その後の)

家の修繕には大きな費用がかかりましたが、「命が助かったことに感謝しなければならぬ」と感じています。近所には、家が流され、やむなく解体し、ふるさとを離れた方もいることを考えれば、自然豊かなこに残ることができてありがたく感じています。

(相蘇弥さん)

ボランティアは十数人で何回か来てもらいました。一般のボランティアだけでなく、技術のあるボランティア団体にも来てもらい、丁寧に床板をはがしてもらいました。床板は床下の泥出し後、そのまま再利用することができました。

住まいをどうするかは難しい判断でした。高台への移転も考えましたが、最終的には修繕して住み続けることを選びました。迷いの中たくさんの応援をくださった皆様にとっても感謝しています。



(写真左) 後藤 正一 さん
(写真右) 相蘇 弥 さん

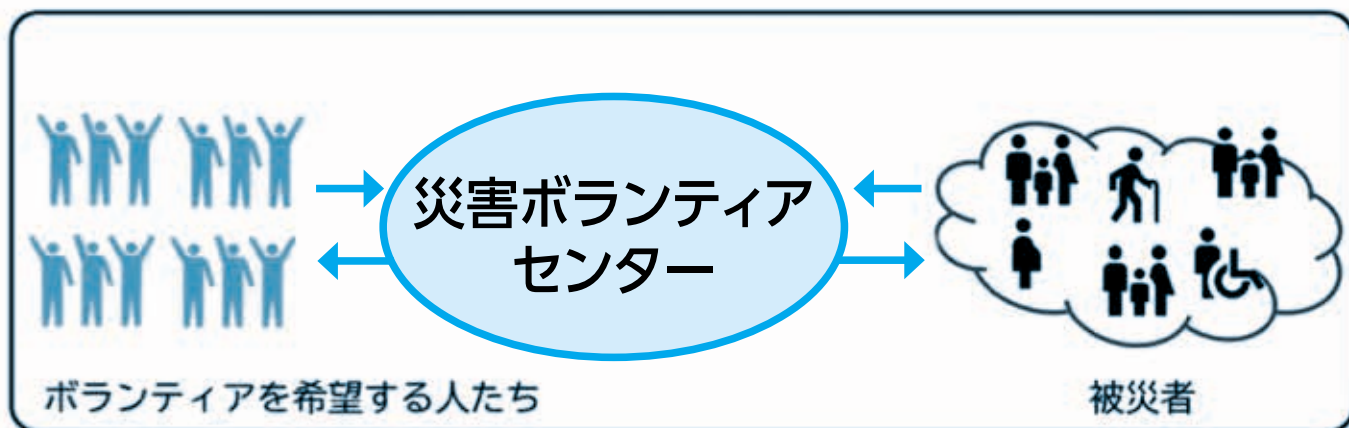
災害時、一人では対応しきれない困難に直面します。災害ボランティアの支援が、生活再建において大きな力となることが改めて分かりました。

「災害ボランティアセンター」をご存知ですか？

地震や風水害など、災害はいつどこで起こるかわかりません。大災害が起こったときには、行政による災害対応が行われるのと同時に多数のボランティアによる被災者支援活動が行われます。酒田市社協は、災害時に酒田市と協力して「災害ボランティアセンター」の設置・運営を行います。

Point!

「災害ボランティアセンター」とは、「ボランティアの力を借りたい」と希望する被災者と「被災者の力になりたい」と思うボランティアをつなぐところです。



令和8年度の酒田市社協のご紹介

地域住民・民生委員・児童委員、社会福祉関係者、医療・福祉・教育など関係機関の参加・協力のもと、地域の人びとが住み慣れたまちで安心して生活することのできる地域をつくるために、主に以下の事業に取り組んでまいります！

新・草の根事業事業

(学区・地区社会福祉協議会の見守り活動等の支援)

☎23-5765 平日8:30~17:15

各学区・地区の住民主体の見守り活動やふれあい給食事業(新・草の根事業)など、地域福祉活動をサポートします。

酒田市ボランティア・公益活動センター

☎43-8165 平日8:30~17:15

夏のボランティア体験事業、ボランティアの研修会、福祉教育推進、交流会など市民活動の支援を行います。

赤い羽根共同募金運動 (じぶんの町を良くするしくみ)

☎23-5765 平日8:30~17:15

地域福祉の貴重な財源である共同募金について、酒田市共同募金委員会事務局として募金活動を推進します。

被災者生活支援・地域支え合いセンター

☎23-5764 平日8:30~17:15

令和6年7月の大雨災害により被災された方の日常生活を支援する活動を行います。

酒田市権利擁護・成年後見センター

☎24-2626 平日8:30~17:15

成年後見制度の相談や福祉サービス利用援助事業の実施により、認知症の方や障がいのある方の生活を支援します。

ふくし出前講座・ふくし共育出前講座

☎23-5765 平日8:30~17:15

酒田市社会福祉法人連絡会議事務局として、市内各法人と連携しながら福祉や介護にまつわる講座をお届けしています。

東日本大震災避難者支援事業

☎23-5765 平日8:30~17:15

酒田市に避難されている方の避難生活や避難元への帰還に向けたご相談などを行います。

心配ごと相談 (毎月第3火曜日午前9時~12時)

☎23-5765 平日8:30~17:15

健康、法律、医療、高齢、女性及び児童問題など様々な心配ごとについて、問題解決のお手伝いをしています。

生活自立支援センターさかた

☎25-0350 平日8:30~17:15 ご来所の前にご連絡をお願いします。

生活、家計、仕事などの相談

一人ひとりのお悩みや困りごとをお聞きし、解決に向けて一緒に考え、自立に向けた支援を行います。

生活福祉資金の貸付相談

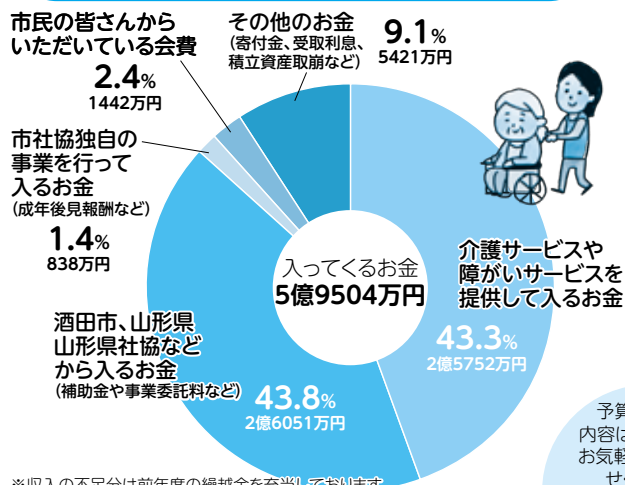
所得が低い世帯、障がい者世帯、高齢者世帯で、生活に必要なお金にお困りの世帯を対象に、相談支援や貸付を行います。
※対象となる資金や条件はさまざまです。貸付内容など詳しくはお問合せください。

その他の事業にかかる詳しい内容については、市社協までお気軽にお問い合わせください。酒田市社協ホームページでも「令和8年度 事業計画」として公開していますのでご覧ください。

令和8年度の酒田市社協 予算(収入と支出)内訳のご報告

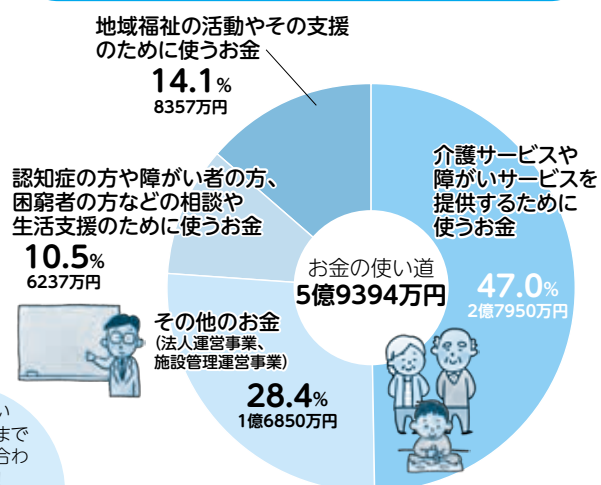
入ってくるお金

令和8年度 収入の内訳



お金の使い道

令和8年度 支出の内訳



酒田市社協の事業は皆さまの会費によって支えられています

地域の福祉活動を応援する酒田市社協では、各自治会などを通して毎年6月に「社協会費」「日赤会費」の納入をお願いしております。毎年ご協力いただきありがとうございます。今年も皆さまのご協力をよろしく申し上げます。



日本赤十字ホームページより



社協会費

1世帯 500円

地域の見守り活動（見守りネットワーク支援事業）、地域交流サロン事業、ふれあい給食事業など学区・地区社協が進める新・草の根事業の活動費や市社協が進める地域支え合いの取り組みのための研修などの経費に充てられています。



日赤会費

1世帯 700円

日本赤十字社（日赤）が行う災害救護や難民救援、献血などの人道的活動の経費に充てられています。

市社協では「日本赤十字社山形県支部酒田市地区（地区長：酒田市長）の事務局を担当しています。

詳しい活動内容についてお知りになりたい方は、酒田市社協（8ページ）までお気軽にお問い合わせください。

あなたの「ふつうの暮らし」が誰かの希望になる ～市民後見人・生活支援員 一緒にやってみませんか～

市民後見人養成研修受講者の募集



後犬ちゃん

山形県地域包括ケア総合推進センターより、市民後見人養成研修のお知らせです。

判断能力が不十分な方の権利と財産を保護する「成年後見制度」の担い手として、地域住民の視点で地域に貢献する「市民後見人」を養成するための研修会を実施します。

酒田市権利擁護・成年後見センターでは、この市民後見人養成研修を受講する方に対し、テキスト代と研修会

場までの交通費の一部を助成します。詳しくはホームページをご覧ください。

募集人数：20人程度

※募集についての詳細は、こちらの二次元コードよりご覧ください。



令和7年度受講されたSさんのコメント

非常に広範囲で専門的なカリキュラムに、時に不安や難しさを感じることもありました。しかし、共に学ぶ仲間が存在があったからこそ、最後までモチベーションを維持し、修了を迎えることができました。現在、生活支援員として活動していますが、今後も地域を支える一員として歩んでまいりたいと思います。

生活支援員募集のお知らせ

福祉サービス利用援助事業では、地域で暮らす高齢の方や障がいのある方が安心して生活できるよう、福祉サービスの利用手続きや日常的な金銭管理などをお手伝いしています。その活動を支える「生活支援員」を募集しています。

生活支援員は、見守り、話し相手、日常的な金銭管理の支援などを通して、その人らしい暮らしを支える活動です。この活動は、一人ひとりの思いや権利を大切にすること、そして困った時に支え合える「おたがいさま」の地域づくりにもつながっています。特別な資格や経験は必要ありません。あなたのやさしさや地域での経験を、誰かの安心のために生かしてみませんか。

【活動内容】

- ・利用者宅や施設への定期的な訪問
 - ・福祉サービス利用料等の払出し、支払い
- ※活動費の支給あり

【選考方法】

活動内容を説明した後、簡単な面接を行い、決定させていただきます。

【応募いただける方】

- ・普通自動車運転免許をお持ちの方
- ・自家用車を使用して活動できる方
- ・平日に活動できる方

※生活支援員についての詳細は、こちらの二次元コードよりご覧ください。



お問い合わせ先

酒田市権利擁護・成年後見センター（酒田市社協）
TEL 0234-24-2626

月曜日～金曜日 8:30～17:15（土・日・祝日、12/29～1/3を除く）
来所を希望される方は、事前にご連絡をお願いします。



毎月の面談の様子

義援金へのご協力 ありがとうございます

酒田市社協では、日本赤十字社山形県支部酒田
市地区として義援金の受付をしております。集め
られた義援金は日本赤十字社本社を經由して被災
された方々にお届けいたします。

《受付場所》

- 酒田市社協
酒田市地域福祉センター・八幡・松山・平田支部
- ボラポートさかた（交流ひろば）
- 酒田市役所、八幡・松山・平田総合支所

あたたかいご寄付ありがとうございます

●市社協への寄付

阿部千代吉	4,486円
孝祥寺寒修行者一同	10,000円
(株)エフワーク	200,000円
酒田飽海更生保護女性会	26,300円
若浜小学校ひまわり学年	305円
阿部亨	切手
佐藤大地	50,000円
(株)マリーゴールド、プロレス愛志隊	30,835円
匿名	40,000円
匿名	300,000円
匿名	10,140円
匿名	5,000,000円
匿名	8,000円

●指定寄付

齋藤邦夫【子ども食堂へ】 チンゲン菜 1箱

●フードバンク事業への食料品寄付

- 酒田共同火力発電(株)
- カーブス酒田泉店、酒田みずほ店
- 酒田電気工事協同組合
- 生活協同組合共立社 酒田生協
- タイコー警備保障(株)
- 生長の家（五十嵐幸子）
- （特非）やまがた絆の架け橋ネットワーク
- 末日聖徒イエスキリスト教会ヘルピングハンズ
- 相蘇郁
- (株)エコー
- 林建設工業(株)
- 匿名



(株)マリーゴールド、プロレス愛志隊

敬称略・順不同 令和8年2月2日から令和8年6月8日受付分

酒田市社協よりお知らせ

連絡先、電話番号は裏面（8ページ）

赤い羽根共同募金助成先の募集

あなたのまちの地域福祉活動を応援します

- 助成対象
酒田市内で活動するボランティア団体や福祉団
体、NPO法人、社会福祉施設など、これらに準じ
た民間組織団体（任意団体でも可）。
- 助成対象事業
●先駆的な地域福祉・在宅事業
●子どもの居場所確保支援事業
●福祉車両整備事業
●障がい者就労支援事業
●「福祉の心」推進事業
- 交付までの流れ
令和8年10月頃 募集の開始・締め切り
令和9年3月 山形県共同募金会で審査
令和9年4月 決定通知
※募集についての詳細はホームページ
をご覧ください。
- 相談・申請先
酒田市共同募金委員会事務局
（酒田市社協）



地域子育て支援事業助成先の募集

助成対象（1団体5万円を上限、予算の範囲内）
子どもを見守り育てるための環境づくりを支援
します。

酒田市内のコミュニティ振興会、学区・地区社
会福祉協議会が主催又は支援を
受けている団体

※「子ども食堂」は対象としない。
※募集についての詳細は
ホームページをご覧ください。



第5期地域福祉活動計画ワークショップ さかた地域福祉おしゃべり会、開催決定!

令和9年度から開始するさかたの街をもっと住
みやすくするための行動計画を、市社協が中心と
なって取りまとめます。計画策定のため…
『あなたの地域の困りごとを教えてください!』

- ①7/18/10時から 公益研修センター
- ②7/31/14時から 希望ホール

※どなたでも参加できます。
詳しくは市社協または二次元コードで



車いすの貸出

ケガなどで一時的に歩くことが困難な場合など
に利用できる車いすを無料で貸出しています。

- 利用対象 酒田市にお住まいの方
※商業利用、長期利用はできません
- 貸出期間 原則1週間（最長14日間）
- 貸出場所 酒田市社協
（酒田市地域福祉センター）
八幡・松山・平田各支部



市民の皆さまや団体などに
寄贈していただいた車いす
です。台数に限りがありま
すので、事前にお問い合わせ
してください。(8ページ)



PHOTO 社協



寸劇で笑いながら学ぶ介護保険

5月13日 / ふくし出前講座(松原コミュニティ防災センター)

まつばらスマイル学級の皆さんとともに、かたばみ会の皆さまを講師にお迎えし、介護保険制度の説明やサービス利用までの流れを、寸劇を交えてわかりやすくお伝えしました。会場には笑いも生まれ、和やかな雰囲気の中で学びを深めていただきました。



桜の下で広がる「思いやりでおもてなし」

4月10日～23日 / 桜まつり車いす貸出(日和山公園)

車いす貸出受付はボランティアの方々にご協力いただきました。利用された方々はお花見をゆっくりと楽しんでいました。みんなが季節のイベントを楽しめるよう市社協が呼び掛け、平成29年度から取り組んでいる活動です。



地域を超えて笑顔でつながる復興の輪

3月13日/ふるさとカフェ(戸沢村中央公民館)

令和6年7月の大雨災害で被災した方々をお迎えし、ふるさとカフェを開催しました。3月は戸沢村の被災者とともに、モルックで交流し、それぞれの経験や思いを語り合いました。



動いて、学んで、買って、笑って!

5月20日/いきいきくらぶ(松山健康福祉センター)

飯野隆氏を講師にお迎えし、健康講話・レクリエーション・松山いきいき体操を楽しみました。終了後には、「満腹市」で野菜やお菓子、木工・陶芸品のお買い物も賑わいました。

編集発行 / 社会福祉法人酒田市社会福祉協議会

この会報は赤い羽根共同基金の助成により発行しています



社会福祉法人

酒田市社会福祉協議会



〒998-0864 酒田市新橋2-1-19(酒田市地域福祉センター内)

☎23-5765

八幡支部 観音寺字寺ノ下41(八幡総合支所内)

☎64-3765

松山支部 字西田6(松山健康福祉センター内)

☎62-2843

平田支部 飛鳥字契約場35(ひらたタウンセンター内)

☎52-2260

ボランティアさかた(酒田市ボランティア・公益活動センター)

中町3-4-5(交流ひろば内)

☎43-8165



酒田市社協では、酒田市視覚障害者福祉協会にご協力いただき、目が不自由な方向けに「声の会報」(音読をCDに録音したものの)の貸し出しを行なっております。ご希望の方はお知らせください。